

厚生文教常任委員会会議録

- 1 日 時 令和元年9月17日(火)
15時20分開会 15時43分閉会
- 2 会議場所 役場3階第2委員会室
- 3 出席議員 委員長：高橋政悦 副委員長：中河つる子
委 員：川上 均・鈴木孝寿・西山輝和・中島里司
- 4 事務局 事務局長：山本 司
- 5 説明員 なし
- 6 議 件

(1) 所管事務調査の申し出について
(2) その他
- 7 会議録 別紙のとおり

委員長（高橋政悦）：只今から厚生文教常任委員会を開催する。最初の議件、所管事務調査の申し出についてを議題とする。

（1）所管事務調査の申し出について

委員長：所管事務調査の申し出の件を協議する。高等学校振興に対する支援策については7月31日調査後継続調査としているところだが、前回の委員会で12月定例会まで閉会中も継続調査とすることとした。今後の進め方について、協議する。

視察を行うのであれば、清水高校にとってプラスになる視察先、内容の選定を行わなければならない。委員の意見を求める。鈴木委員。

鈴木委員：視察をしてはと考える。清水高校の総合学科は地域を上げて支援しており、他の地域の教育関係者に聞くと他に比べると充実しているとのことである。これ以上の総合学科は他にはないのではとのことであった。視点を変えて入学者を集めている、子どもの希望をかなえるために一生懸命やっている学校として、公立ではないが私立でも良いと考える。

元帯広三条高校長、釧路湖陵高校長、北広島高校長を経て現在北海道科学大学高校長をされている方の情報で、私立高校の取り組みも紹介できるので是非来てくださいとの話とその方の紹介で、同じく私立高校で斬新的な学校運営をされている札幌新陽高校を紹介された。

目線を変えて入学者の確保に取り組んでいる学校があると聞き、この2校を視察し是非参考となるものを得たいと考え提案する。

委員長：中島委員。

中島委員：公立高校は行き詰っている部分もあるのかなと思う。局長に聞くが、私立高校を対象として所管事務調査を行うことは特に問題はないのか。

山本局長：特に問題はない。

委員長：ここで休憩する。

【休憩15:26】

【再開15:38】

委員長：再開する。先ほど鈴木委員からいずれも私立高校であるが、北海道科学大学高校及び札幌新陽高校が先進的な教育方針で運営されているということで、総合学科である清水高校にプラスになる事例が多々あると思われる点から調査してはとのことである。その後道教委へ今後の教育指針・方針を確認の意味で2020年から教育方針も大きく変わることを聞いているので、そのことについても方向性を確認するため管外視察を行うことで計画する。時期は、相手方の都合もあるが11月第1週を目途に調整して依頼したいが良いか。

（はいの声あり）

委員長：では、そのように進めることとし、調査の申し出を行う。

鈴木委員：委員の他に高校振興会若しくは教育委員会も一緒に行ってはどうか。

委員長：予算がないため振興会の役員は難しい。教育委員会は旅費予算があれば可能ではないか。教育委員会へは声掛けをしてみることで良いか。

（はいの声あり）

委員長：所管事務調査の委員会報告は12月定例会となるが、その前に高校振興会へ支援の方策などについて報告は必要と考えるので、そういうことを踏まえた視察にしたい。

所管事務調査の申し出については、以上のようなことで良いか。

（はいの声あり）

(2) その他

委員長 : では、(2) その他であるが、委員から何かあるか。

(なしの声あり)

委員長 : 事務局は何かあるか。

山本局長 : 特になし。

委員長 : では、本日の委員会はこれで閉会する。

【 閉会 15 : 43 】